

令和5年度 努力点全体計画

1 テーマ

育てよう！明るい心！ ～自他を大切にする相原っ子～

2 ねらい

本校の児童は、年間を通して異学年交流であるペア活動を行っている。ペア活動の中では、高学年の児童が下の学年の児童に優しく接する姿がよく見られる。その一方で、友達に対して言葉遣いが乱暴になったり、相手とのコミュニケーションがうまくいかずトラブルになったりすることもある。他者と関わりたいという思いはあるが、適切な関わり方が身に付いていないため、自分の思いや考えを優先してしまうからだと思われる。

そこで、「特別の教科 道徳」の授業実践を通して、友達の考えに耳を傾け、よさを認め合い、よりよい方法を見付けていく力を身に付けさせたいと考え「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことをねらいとして研究に取り組んでいきたい。

昨年度の取り組みによって、自分の考えをもったり友達の考えを受け止めたりすることができるようになってきた。また、道徳的価値について、考えを深めたり多面的多角的に捉えたりすることができるようになってきた。しかし、自分事として捉え、日常生活に生かそうという意識の高まりが不十分であるという課題が残った。

そこで、本年度は、重点主題を「主として人との関わりに関すること」に設定して実践を積み重ねていきたい。学んだ道徳的価値を自分のものとして、自他ともに大切にできる相原っ子の育成を進めていきたい。

3 研究の進め方

- (1) 各学級で児童の実態を把握する。
- (2) 各部会で、目指す子ども像と、それに迫るための手立てを検討し設定する。
- (3) 1人1実践行う。各部会で事前・事後検討をしっかりと行う。
- (4) 「努力点だより」や「ADgram」（相原努力点 gram）で、実践内容や児童の実態を保護者に伝える。「ADgram」は簡潔にまとめ、実践後一週間以内にメール配信する。
- (5) 10月に中間報告会、2月に最終報告会を開く。

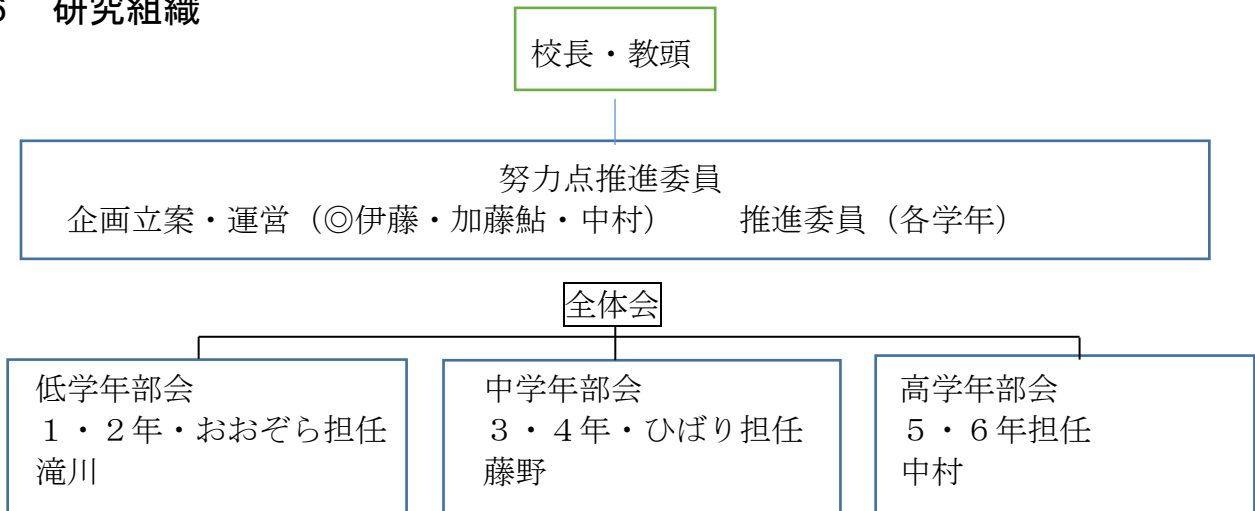
4 研究の手立て

- (1) 主題について考える場面では、多面的多角的に捉えられるようにする。
 - ・視覚化したりツールを使ったりして、考えの表現方法を工夫する。
 - ・対話やロールプレイの仕方を工夫する。（伝える・受け取る場の充実）
- (2) 主題について、自分の考えを深められるようにする。
 - ・問い返しをするなど、発問を工夫する。
 - ・生活場面を想起させるなど、導入・まとめの仕方を工夫する。
- (3) まとめ場面では、道徳的価値についてどの程度理解できたのか、自分の意識がどのように変化したのかなど、自己評価を行う。

5 評価方法

4の「手立て」によって、児童が目指す子ども像に近づくことができたかどうかを、活動の様子やノートの記述から評価する。

6 研究組織



7 研修計画

4月	全体計画の提案、講話、 実態把握、学年・部会推進計画の決定
5～9月	部会授業研究、中間報告書の作成
10月23日	中間報告会
10月～1月	部会授業研究、最終報告書の作成
1月29日	最終報告会（次年度の内容検討もする）
2月	学校評価、次年度の内容検討